

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和3年度事業分)

施設名 山梨県立あゆみの家
 所管課 福祉保健部 障害福祉課
 指定管理者 社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会

1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度			
指定管理者名	出資法人	指定期間		委託料総額 (単位:円)
社会福祉法人蒼溪会		H19.1.1 ~	R3.3.31	14年 3ヶ月
社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会		R3.4.1 ~	R4.3.31	1年
				23,427,808

2 施設の概要

所在地	韮崎市旭町上條南割3314-13
設置年月日	平成19年1月1日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立あゆみの家設置及び管理条例
設置目的	精神障害者に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図るため。
主な業務の内容	(1) 施設等の維持保全に関する業務 ・施設及び設備器具の維持保全に関する業務を行う。 (2) 利用者に対する障害福祉サービス業務 ・自立訓練(生活訓練)及び短期入所に係る業務を行う。
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積:2,169㎡ ○建築延面積:646.09㎡ ○建物の構造:鉄筋コンクリート造2階建 ○施設の内容 ・居室:(全室個室:10㎡、1階に10部屋、2階に12部屋【収納、ベッド、洗面台、エアコン、カーテン、バルコニー、冷蔵庫】)、多機能室、相談室、浴室、娯楽室及び食堂並びに事務室等 ○各障害福祉サービス定員 ・自立訓練(生活訓練):20人(令和3年11月までは10人) ・宿泊型自立訓練:20人(令和3年11月までは10人) ・短期入所:2人
備考 (改築工事等の状況、一括管理施設等)	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和3年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
収入合計	65,616,690	75,911,638	82,769,307	72,195,903	45,946,915	
支出合計	52,532,444	49,935,214	47,540,008	55,858,410	39,850,398	
収支差額	13,084,246	25,976,424	35,229,299	16,337,493	6,096,517	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用実績	39人	38人	40人	35人	13人	各障害福祉サービスの月平均利用者数
利用者満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和3年度)

令和3年4月から現法人が新たな指定管理者として、管理が開始されたが、本施設の従前の利用者は、前指定管理者が運営する別施設を利用することとなったため、入居者のいない状況からのスタートとなった。

利用定員を令和3年11月までは10名、12月以降は20名とし、利用者の獲得に努めたが、利用者の入居までに、①施設見学、②体験(日帰り、宿泊)、③本人、家族、関係機関と入居に向けてカンファレンスを行うため約2か月を、退居については、本人、家族及び関係機関との打合せ等で3ヶ月の準備期間を要した。

当初想定していたより利用開始までの時間を要したことや、新型コロナウイルス感染症の影響等により、定員を満たすまでの利用者の増加には至らなかった。6月下旬から徐々に入居が始まり、利用者の合計数は、生活訓練・宿泊訓練が14人、短期入所が1名であった。

引き続き、利用者数の増加を図るため、関係機関との連携強化や体験利用の受入機会等の増加を行う。

また、利用者への支援については、精神障害者が自立した社会生活を営めるよう、利用者やその家族及び関係機関と連携し、個々のニーズに即した個別支援計画や個別訓練実施計画を作成し、日常生活や社会生活能力の向上を図るための訓練等を実施した。

施設の維持・保全については、居室や照明設備等の修繕を実施した。また、利用者の安全な生活が確保できるよう職員が施設の点検を週1回、空調設備の点検は年2回の大掃除に清掃点検を行った。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和3年度)

利用者満足度調査結果の「施設全体の満足度」における「満足・どちらかといえば満足」の割合を施策推進業務における評価指標とし、目標値を80%と設定。

調査の結果(令和4年1月末)、割合は90.9%となり、目標を上回ったものの、「どちらかといえば不満」、「不満」の割合が比較的高かった項目(入浴等)については、指定管理者に対し、調査結果を分析・報告の上、施設運営の改善を図るよう依頼を行った。

また、施設内における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、施設職員や利用者に対する早期のワクチン接種について、協力要請を行うとともに、利用者に対する毎週1回の抗原検査を行った結果、施設内感染によって、運営に支障を来すような事態は発生しなかった。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和3年度)

利用者満足度の向上を図るため、調査結果の分析を行い、施設運営における具体的な改善方法等を検討しており、対応可能なものから早期に着手を行う。

また、施設内における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、引き続き、感染症対策の徹底に努めている。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

施設名 山梨県立あゆみの家
 所管課 福祉保健部 障害福祉課
 指定管理者 社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会

1 利用状況 (単位:人、%)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数	自立訓練(生活訓練)	20	19	20	18	6
	宿泊型自立訓練	18	18	19	17	6
	短期入所	1	1	1	0	1
	利用者数合計	39	38	40	35	13
	目標値	44	44	44	44	28
	実績/目標割合	88.6%	86.4%	90.9%	79.5%	46.4%
	目標値の設定方法	定員を目標値とする。				
利用率	稼働率等(利用率)	88.6%	86.4%	90.9%	79.5%	46.4%
	稼働率等(利用率)の算定方法	利用者数/施設の利用定員				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	<ul style="list-style-type: none"> 山梨県立育精福祉センター:成人寮(施設入所 90人、生活介護 105人、短期入所 9名)、児童寮(定員70名、短期入所 9人) 梨の実寮:生活介護(52人)、就労移行支援(6人)、就労継続支援B型(12人)、施設入所支援(50人)、短期入所(6人) あさひワークホーム:生活介護(38人)、就労移行支援(8人)、就労継続支援B型(34人)、施設入所支援(40人)、短期入所(5人) あけぼの医療福祉センター成人寮:生活介護(45人)、自立訓練(機能訓練)(15人)、施設入所支援(40人)、短期入所(15人)
----------	---

3 補修工事等の状況(令和3年度) (単位:円)

県	水道・照明設備不具合箇所修繕	2,148,300
県	空調設備不具合箇所修繕	908,600
管	LANケーブル再配線工事	71,500
管	建物補修	11,550

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件60万円未満の修繕等は指定管理者が実施
 *ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和3年度) (単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

5 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収入	A 収入額計	65,616,690	75,911,638	82,769,307	72,195,903	45,946,915
	施設利用料	65,472,249	75,327,320	81,319,412	71,696,808	22,442,107
	指定管理委託料					23,427,808
	受取利息配当金収入	7,146	1,262	1,155	3,508	
	その他	137,295	583,056	1,448,740	495,587	77,000
支出	B 支出額計	52,532,444	49,935,214	47,540,008	55,858,410	39,850,398
	人件費	42,618,065	38,992,583	35,214,527	43,434,903	32,224,782
	給食費	1,757,244	1,774,946	921,526	418,253	944,172
	修繕費	543,343	660,085	190,679	437,370	83,050
	光熱水費	2,143,500	2,350,443	2,672,481	2,608,388	1,675,038
	器具備品費	215,104	341,353	621,493	618,646	1,171,771
	事務消耗品費	642,255	213,659	299,558	181,687	1,410,449
	賃借料	25,488	172,428	256,732	1,481,713	
	保険料	391,060	236,550	405,980	230,621	246,220
	教養娯楽費	220,457	147,647	254,193	196,354	22,331
	旅行交通費	319,294	464,083	83,725	3,350	2,346
	研修研究費	1,291,115	1,433,705	3,219,468	714,744	8,000
	通信運搬費	495,984	544,159	692,026	612,059	256,690
	広報費	143,000	173,448	952,298	656,732	
	租税公課費	142,400	122,980	182,219	267,550	112,680
	日用品費	94,325	31,805		0	41,633
	その他(福利厚生)	878,982	1,448,807	763,933	891,244	1,092,954
	外部委託費	610,828	826,533	809,170	3,104,796	558,282
	保守点検業務	458,828	517,508	551,840	302,890	435,818
	会計業務	152,000	309,025	257,330	203,546	
	その他				2,598,360	122,464
外部委託比率	1.2%	1.7%	1.7%	5.6%	1.4%	
県への納付金						
収支差額(A-B)	13,084,246	25,976,424	35,229,299	16,337,493	6,096,517	

一人当たりの収入額*	1,682,479.2	1,997,674.7	2,069,232.7	2,062,740.1	3,534,378.1
------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

* 収入額計÷利用者数(単位:円)

一人当たり指定管理者委託料*	—	—	—	—	1,802,139.1
----------------	---	---	---	---	-------------

* 指定管理者委託料÷利用者数(単位:円)

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

6 利用者満足度

実施方法等		日 時: 令和4年1月31日(月) 方 法: 調査票(別紙)、回答は無記名 ・全員に調査協力依頼と回答に関する説明のうえ記入 ・回収は当日、各自の手で回収用封筒に入れる 回答者: 入居者11名 結 果: 集計結果は職員会議で共有し、対策等を行った上で入居者へ報告			
項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満又は不満	無回答	
①職員の言葉づかいや礼儀、態度	63.6%	18.2%	18.2%		
②職員の話・説明(内容・言葉)のわかりやすさ	72.7%	18.2%	9.1%		
③職員のコミュニケーション(会話、表情、雰囲気等)	63.6%	27.3%	9.1%		
④職員の相談しやすさ等	63.6%	18.2%	18.2%		
⑤職員の利用者の気持ちを尊重した対応	54.5%	18.2%	27.3%		
⑥職員の利用者・家族のプライバシー配慮や個人情報保護等の対応	45.4%	36.4%	9.1%	9.1%	
⑦施設からの書面(お知らせ等)のわかりやすさ	45.5%	45.5%	9.0%		
⑧夕食(献立、品数、味付け等)	45.4%	36.4%	9.1%	9.1%	
⑨入浴(使用時間、設備等)	27.3%	18.2%	54.5%		
⑩環境・衛生面(室温、清掃・整理整頓等)	36.4%	45.4%	18.2%		
⑪職員の利用者の健康状態を把握した対応	63.6%	18.2%	18.2%		
⑫利用者自身が健康状態を理解し、安定した生活を送るための支援	72.7%	18.2%	9.1%		
⑬プログラム活動(清掃、買い物、体力づくり等)	45.5%	45.5%	9.0%		
⑭個別支援計画・訓練実施計画(利用者の意向尊重等)	54.5%	27.3%	9.1%	9.1%	
⑮サービス管理責任者・生活支援員の制度理解	63.6%	36.4%			
⑯施設全般の満足度	63.6%	27.3%	9.1%		
利用者の主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴日を増やしてほしい、入浴時間を延ばしてほしい ・居室での電話の内容が他入居者に漏れていないか心配 ・食堂兼娛樂室での会話やテレビの音、調理をした時の換気不足等への配慮、対策を検討してほしい ・一部の施設職員について、言葉づかいが不適切 				
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴日を週3日(他の日はシャワー)から毎日に増加 ・娛樂室でのテレビの音等、共有スペースの利用に関するルール・マナーを随時周知 ・職員に関して、言葉づかいや態度、相談対応等については、日々のミーティング、会議及び研修を通して振り返り及び改善を図った ・その他の項目についても可能なものは速やかに対応を予定 				

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

7 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	建物や敷地内の通路や廊下等、日頃から整理整頓を心がけ、業者による法定点検を実施した。 また、軽微な施設の補修など速やかに対処し、利用者が安全・安心して充実した生活ができる体制に努めた。	施設内外ともに整然と管理されており、設備等の法定点検や修繕等も行われ、維持管理は適正に行われていた。
運営業務	利用者個々の障害の状況や程度、ニーズを把握し、個別支援計画及び個別訓練実施計画を作成し自立に向けて具体的な支援を行った。特に、生活の質の向上を図るため、料理実習、買物支援、清掃支援等の充実に努めた。	利用者の健康状態や意思を尊重の上、個別支援計画の作成や個別訓練等を実施しており、適切に利用者支援が行われた。
利用状況	6月下旬から利用者が入居し始め、生活訓練利用者は14名、短期入居者は1名だった。 年度末時点で入居を検討している者が5名(生活訓練の体験者3名、見学者2名)おり、利用者の増加が見込まれる。	利用者がいない状況で指定管理を開始したが、関係機関との連携等を図るなど、利用者の増加に努めた。 引き続き、関係機関との連携や体験利用の受入等を強化し、更なる利用者の確保に向けた対応を行うこと。
収支状況	利用者が徐々に増加し、県からの指定管理委託料もあって、安定した収支となった。	利用者が少ない状況が続いた上、新型コロナウイルス対策等も重なったものの、収支は黒字となった。 今後も利用者に対する必要な支援を行った上で適正な収支の管理に努めていくこと。
自主事業		
利用者満足度	施設全般の満足度で、90%超の利用者から「満足」「どちらかと言えば満足」との評価があった一方、何らかの不満を感じている利用者もいることから、利用者からの要望に可能な限り対応し、満足度の維持・向上に努めていく。	満足度調査の結果、9割以上の利用者が満足している。 「どちらかといえば不満」、「不満」の割合が比較的高かった「入浴」等については、内容を分析の上、改善を図ること。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

8 施設所管課による定期評価結果

施策推進業務の内容	評価	改善内容
施設利用者の満足度の向上	利用者満足度調査結果の「施設全体の満足度」における「満足・どちらかといえば満足」の割合を施策推進業務における評価指標とし、目標値を80%と設定。調査の結果(令和4年1月末)、割合は90.9%となり、目標を上回った。	「どちらかといえば不満」、「不満」の割合が比較的高かった項目(入浴等)については、指定管理者に対し、調査結果を分析・報告の上、施設運営の改善を図るよう依頼を行った。調査結果の分析を行い、施設運営における具体的な改善方法等を検討しており、対応可能なものから早期に着手を行う。
感染症対策	施設内における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、施設職員や利用者に対する早期のワクチン接種について、協力要請を行うとともに、利用者に対する毎週1回の抗原検査を行った結果、施設内感染によって、運営に支障を来すような事態は発生せず、適切な対応が行われた。	施設内における感染症対策は適切に行われており、引き続き、感染症対策の徹底に努める。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

9 管理体制(組織図)

令和3年4月1日現在

